

. 大滝ダム貯水池斜面の現況等

事 項	要 点	備 考
2 . 降雨及び貯水状況	<p>大滝ダムでは、平成 1 5 年 3 月より試験湛水が開始され、その後 4 月下旬に白屋地区で亀裂変状が確認されたことを受けて、5 月 1 0 日（貯水位 304.8m）で貯水位を維持し、その後 8 月 2 日より貯水位を低下させ、1 0 月下旬に下部コンジット水位（約 258.0m）まで低下させた。その後、台風等の出水に伴い貯水位の一時的な上昇はあるものの、貯水位 258.0m を維持し、平成 1 6 年の非出水期以降は、貯水位を約 271.0m としている。図 .2.1 に降雨および貯水状況を示す。</p> <p>図 .2.1 大滝ダムの降雨および貯水</p>	